

男子チームが見事優勝、女子チームも3位入賞

福岡県スポーツ少年団ミニバスケットボール交流大会

2月16日、25日、26日の3日間、大野城市総合体育館で第2回福岡県スポーツ少年団ミニバスケットボール交流大会が開催され、県内各地域から選抜された男女各8チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

筑豊地区を代表して、市内の小学校4～6年生で構成された田川市スポーツ少年団チームが参加。男女ともに予選を次々に勝ち抜いた結果、男子チームは見事優勝、女子チームも3位に入る大健闘を見せました。

優勝した男子チームのキャプテンを務めた鎮西小学校6年生の高瀬颯一郎くんは「最後まで諦めずにチーム全員でがんばりました」と笑顔で話しました。



▲優勝した男子チーム(写真上)と3位に入賞した女子チーム



▲お客さんも一緒に最後は炭坑節で締めました

学習を通じて交流とふれあいを

田川市隣保館合同文化祭

2月25日、26日、田川青少年文化ホールで田川市隣保館合同文化祭が開催され、上伊田・中央・弓削田の隣保館で学んでいる受講生たちが日ごろの練習成果を発表しました。

展示スペースには、書道や陶芸など190人が225点の作品を展示。26日には、安藤龍生石炭・歴史博物館長による「作兵衛さんから見えるもの」と題したミニ講座の後、舞台発表が行われ、34組延べ109人が歌や踊り、体操などを披露し、2日間で約400人が訪れ、作品や舞台などを楽しみました。

中央隣保館で民謡を学んでいる北山初子さんは「普段の練習の成果をだそうと一生懸命踊りました。先生の指導のおかげです」と充実した表情で話しました。

昔の遊びに挑戦しよう！

田川小学校で特別授業

3月1日、田川小学校で児童の祖父母や地域の高齢者を外部講師として学校へ招き、1年生の児童が「昔のあそび」を体験しました。

これは、1年生の生活科の授業の一環として昔のあそびに触れようと毎年行われているもの。児童たちは、班ごとにけん玉やあやとり、ヨーヨー、お手玉、こま遊びに挑戦しました。初めは苦戦している様子でしたが、指導を受けるにつれ上手くできるようになると、あちらこちらから歓声が上がります。喜び姿が見られました。

上手にこま回しをしていた大場愛那さんは「いつもと違った遊びで楽しかった。また遊びたい」と笑顔で話しました。



▲けん玉に挑戦する児童たち